

晩秋通信 ～

5号 (2004.11)

最高のコーヒーの品評会「カップ・オブ・エクセレンス (以下、COE)」。
その入賞コーヒーを上尾や近くの町にお住まいのお客様に飲んでいただけるときが遂にやってきました。

COEは、特定の生産国で年に一回行われるコーヒーの国際品評会。
1999年にブラジルで第一回目が開催され、いまではブラジル、
ニカラグア、エルサルバドル、ホンジュラス、ボリビアと、ラテンアメリカを中心にその開催国を広げています。

COEは、世界的に認められているカップ・テイスターが審査員を行っているため、入賞したどの豆も際立った風味をもち、魅惑的といってもいい風味をもっています。

入賞豆は、インターネットオークションにかけられ、最高価格を提示したものが当該ロット(1位なら1位出品の全量)を買い取る事ができます。

この品評会は、1997年から2000年にかけて、国連が発展途上国の経済支援のために、良質なコーヒーを生産させようと品質の向上を図ったITCプロジェクトが母体となっており、「良質のコーヒーを求める消費国」と「良質のコーヒーを作り、高く買ってもらいたい生産者」という関係のもとに成り立っています。ですから、この品評会のオークションで落札されると、その落札額は中間業者に一切渡ることなく、ほとんど生産者の手に渡ります。今までどんなに美味しいコーヒーを作っても安く中間業者に買い叩かれ、貧困にあえいでいた生産者にとって、COEに入賞することにはある意味、国内外から評価され、場合によっては消費国側から農園に直接アプローチがかかるというコーヒー生産者にとってもある意味生きていく道なのです。晩秋のブラジル・セラダス・カベサスもCOE入賞農園の豆です。今月は中南米3カ国で行われたCOE入賞のコーヒーを3種類ご紹介します。非常にいい豆なので、フレンチプレスでご賞味されることをお勧めします。是非ともこの機会に最高のコーヒーをご堪能ください。